

2022年 年頭所感

日本損害鑑定協会

会長 内山 真



当協会は、皆さまのご理解とご協力により昨年11月に内閣府より公益社団法人の認定を受けました。ご協力ご支援をいただいた皆さまに改めて深く感謝致します。

11月に公益社団法人、損害鑑定発展通じ社会に貢献

当協会は、1975年の設立後47年に亘り、公正かつ迅速な損害鑑定を命が加わりました。

昨今は、不適切な保険金の申請コンサル業者などのいわゆる特定修理業者が跋扈し、消費者に不利益を与え、損害保険マナーゲット、ひいては一般国民生活に甚大な混乱を招いております。不適切な保険金請求を徹底排除し、公正な保険金が迅速に支払われることを支援するためには、被災現場に赴きお客さまと直接

して損害鑑定を行う損害鑑定人の持つ役割と責任は、非常に大きなものがあると認識しております。自然災害が絶え間なく発生する状況も続いており、大地震発生の可能性も高まっていると言われているので、当協会の

に、今後もしっかりと注力して参ります。日ごろ、当協会や損害鑑定事務所ならびに損害鑑定人と接する機会のある関係者の皆さまにおかれましては、温かくも厳しいご意見を、遠慮なくいただければ幸いです。

定人と損害保険関係者で過去最高の500名を超える参加者がありました。共通の解決課題について有益な情報共有と意見交換の場を提供するというのが「損害鑑定フォーラム」の目的ですが、損害鑑定人以外にも多くの業界関係者の皆さまのご参加を得て、損害鑑定事務所または損害鑑定人だけでは解決できず、いろいろな立場の方々と連携してこそ解決できる課題が多いことを改めて感じさせられましたし、損

害鑑定に対する社会の関心が非常に高まっていると実感しました。皆さまのご期待に沿える日本損害鑑定協会となるよう、全会員がしっかりと研鑽を積んで参る所存です。パンデミックの影響は、まだまだ終わりが見えませんが、2022年が皆さまと皆さまの家族にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。(見出しは編集部)